

聖書翻訳と日本語

研究者プロフィール

- ・文学部 総合人文学科 教授 吉田 新
- ・専門分野：新約聖書学、日本語訳聖書翻訳史
- ・研究分野：新約聖書、初期キリスト教史、日本語訳聖書
- ・所属学会 日本基督教教学会、日本聖書学研究所、日本聖書翻訳研究会
- ・著編書：『バプテスマのヨハネ』（教文館、2012年）
Trauerarbeit im Urchristentum. Auferstehungsglaube, Heils- und Abendmahlslehre im Kontext urchristlicher Verarbeitung von Schuld und Trauer, Göttingen 2013.
『福音とは何か 聖書の福音から福音主義へ』（編著、教文館、2018年）
『苦難と救済 閣の後に光あり』（編著、教文館、2020年）



研究内容

- ・新約聖書のなかで比較的遅い時代に成立した文書である「ペトロの手紙一」について研究しています。また、近代以降、聖書がどのように日本語に翻訳されたのかについて研究しています。

関連キーワード

新約聖書、初期キリスト教、日本語聖書翻訳史

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

- ・19世紀末に日本語に訳された聖書は、日本の政治、社会、文化、文学など、様々な影響を与えました。聖書の日本語訳によって、日本語がどのような変化をしたのかなど、聖書を通した日本語の変遷について新しい視座を提供することができます。

研究者への連絡先

連絡先：産学連携推進センター
E-mail：srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
電話：022-354-8122